科目名	脱臼理論						年度	2025	
英語科目名	The dislocation general remarks							学期	前期
学科・学年	柔道整復科 2年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	有山敦士	教員の実務経験		有	実務経験の職種 素道整復 務経験あ		師(接骨院にて勤り)		

【科目の目的】

柔道整復師が施術で行う脱臼について顎関節・胸鎖関節・肩鎖関節・肩関節の脱臼における症状や合併症などの知識と整復及び 固定の技術を習得する。

【科目の概要】

部位別の具体的な外傷の成り立ちや施術方法について学びます。

【到達目標】

柔道整復師として臨床現場で遭遇する上肢の脱臼を中心として学ぶ。外力の方向性から発生する脱臼の分類、同外力から他の外傷の合併及び鑑別、性別・年齢等における発生要因などを踏まえ理解する。また、弾発性固定肢位や症状からの脱臼と判断することを理解し、それぞれの脱臼における整復法の理解と整復法実技、また実施時の注意点を学び、臨床現場で実践しできる技術を獲得し、医療人としての資質を養うことを目的とする。

【授業の注意点】

医療人としての資質をはぐくむため受講態度や私語などは厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めないと共に、公共交通機関の遅延等が予測される場合はそれに対応できるようにすること。1年生からの継続した内容が必要となるため、骨折・軟部組織損傷などの他教科も合わせた予習・復習が必要である。授業時数の4分の3以上出席しないものは定期試験を受験することができない。

評価基準=ルーブリック							
ルーブリック	レベル 5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1		
評価	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力		
到達目標 A	顎関節脱臼についてよ く理解し、説明するこ とができる。	顎関節脱臼についてよ く理解している。	顎関節脱臼について理 解している。	顎関節脱臼についてあ まり理解していない。	顎関節脱臼について全 く理解していない。		
到達目標 B	胸鎖関節脱臼について よく理解し、説明する ことができる。	胸鎖関節脱臼について よく理解している。	胸鎖関節脱臼について 理解している。	胸鎖関節脱臼について あまり理解していな い。	胸鎖関節脱臼について 全く理解していない。		
到達目標 C	肩鎖関節脱臼について よく理解し、説明する ことができる。	肩鎖関節脱臼について よく理解している。	肩鎖関節脱臼について 理解している。	肩鎖関節脱臼について あまり理解していな い。	肩鎖関節脱臼について 全く理解していない。		
到達目標 D	肩関節前方(烏口下)脱 臼についてよく理解 し、説明することがで きる。	肩関節前方(烏口下)脱 臼についてよく理解し ている。	肩関節前方(烏口下)脱 臼について理解してい る。				
到達目標 E	肩関節後方・下方脱臼 についてよく理解し、 説明することができ る。	肩関節後方・下方脱臼 についてよく理解して いる。	肩関節後方・下方脱臼 について理解してい る。	肩関節後方・下方脱臼 についてあまり理解し ていない。			

【教科書】

教科書(柔道整復理論-社団法人全国柔道整復学校協会監修-)に準拠する。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

定期試験による評価

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		脱臼理論)25	
英語表記		The dislocation general remarks					i期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル			自己評価	
	1 脱臼について	頭部の脱臼、上肢の脱 - 臼、下肢の脱臼とは何	1 頭部の脱臼	頭頚部の脱臼について概要を理解している。				
1			2 上肢の脱臼 上肢の脱臼について概要を理解している。					
	か?	3 下肢の脱臼 下肢の脱臼について概要を理解している。						
	2 顎関節前方脱臼	顎関節前方脱臼は発症 - 時どのような症状を呈するのか。	類関節前方膜白け発症 1 類関節の構造 類関節の構造を理解している。					
2			寺どのような症状を呈 2 顎関節脱臼の特徴 顎関節脱臼の特徴を理解している。					
			3 発生機序と症状	顎関節脱臼の発生と症状 (両側・片側) を理解している。				
		顎関節前方脱臼を整復	1 ヒポクラテス法	ヒポクラテス法を説明できる。				
3 顎関節脱臼の整復法	するにはどのような方法があるのか。	2 ボルカース法	ボルカース法を説明できる。					
		3 口外法	口外法を説明できる。					
		顎関節後方脱臼、側方 脱臼の特徴は何か。	1 後療法と後遺症	後療法、後遺症を理解している。				
4	4 顎関節後方脱臼・ 側方脱臼							
DQ 22 /DE [7 14 18 (14 17 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18	3 側方脱臼	側方脱臼を理解している。	ている。				
		胸鎖関節前方脱臼はど のようにして起こるの か。	1 分類 鎖骨の分類を理解している。					
5 胸鎖関節 前方脱臼								
			3 整復、固定	整復法を説明できる。	朗できる。			
	胸鎖関節	胸鎖関節後方脱臼と判 - 断した場合どのように 対応すべきか。	回鎖関節後方脱臼と判 1 上方脱臼の発生・症状 上方脱臼の発生と症状を理解している。					
6	上方脱臼		fした場合どのように 2後方脱臼の発生・症状 後方脱臼の発生と症状を理解している。					
後方脱臼	後万脱臼		3 整復法	後方脱臼の整復法が説明できる。				
7 肩鎖関節上方脱臼		肩鎖関節脱臼はどのような症状をとるのか。	1 分類 肩鎖関節脱臼の分類を理解する。					
			2 発生機序	発生機序を理解している。				
		3 症状	症状を理解している。					
			1 顎関節脱臼 顎関節脱臼について説明できる。					
8 振り返り	前半を振り返る	返る 2 胸鎖関節脱臼 胸鎖関節脱臼について説明できる						
			3 肩鎖関節脱臼	肩鎖関節脱臼について説明できる。				
		整復はどのように行う のか。	1 整復法 整復法を理解している。					
9 肩鎖関節 上方脱臼			2 固定法 固定法を理解している。					
		3 合併症、予後	合併症、予後を理解している。	ている。				
	肩鎖関節		1 絆創膏固定	絆創膏固定を説明できる。	月できる。			
10 下方脱臼 後方脱臼	毎 対すの外端が下力や依 ちに レジまる きにける	2 下方脱臼	下方脱臼について理解している。	て理解している。				
		3 後方脱臼	後方脱臼について理解している。	理解している。				
11 肩関節脱臼 烏口下脱臼		1 肩関節の構造	肩関節の構造を理解している。					
		2 分類	肩関節の分類を理解している。		3			
			3 発生機序	発生機序を理解している。				
12 烏口下脱臼			1 症状	症状を理解している。				
	烏口下脱臼		合どのような症状が 2 合併症 合併症について理解している。					
	でるのか。	3 整復法	整復法を理解している。					
		#//	1 コッヘル法 コッヘル法について説明できる。					
3 烏口下脱臼	整復はどのように行う「のか。							
		3 後療法、鑑別	後療法、鑑別外傷について理解している。					
14 振り返り		後半の振り返り						
	振り返り							
			3 肩関節脱臼	烏口下脱臼について説明できる。			L	
	肩関節 後方脱臼 下方脱臼	後方脱臼や下方脱臼は _ どのような症状をとる	1 後方脱臼	後方脱臼について理解している。				
15			りような症状をとる 2 下方脱臼 下方脱臼について理解している。					
	上方脱臼	のか。 3 上方脱臼 上方脱臼について理解して						

評価方法:1.小テスト、49.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価:S:とてもよくできた、A:よくできた、B:できた、C:少しできなかった、D:まったくできなかった

備考 等